

伊野小学校

7月2日の3時間目、全校平和集会を行いました。「戦争の恐ろしさを学び、折鶴を折ることを通して、平和への願いを高める」ことをねらいとした集会です。

当日までに各学級が折鶴を作りました。下級生には上級生が教え、全校で約900羽の折鶴が折り上がり、6年生有志がその1羽1羽に糸を通してくれました。



全員で歌った「おりづる」、とても意味のある、そして美しい曲です。気持ちのよいしっかりとした歌声が体育館に響きました。

そして、今年の平和集会には、平和資料館「草の家」館長、岡村正弘さんご夫妻に来ていただき、高知空襲の体験を語っていただきました。

昭和20年、岡村さんが当時8歳の7月3日の深夜から4日の未明にかけての体験です。話の中に出てくる赤紙、防空頭巾、千人針、入営旗、鉄兜、背のう、焼夷弾のレプリカなどを見せながら、紙芝居を基に分かりやすく語りかけてくださいました。高知市が火の海になったこと、鏡川に逃げてきた時の様子、大切な家族を防空壕で亡くした悲しいできごとなど、語り部の30分があっという間に過ぎました。

子どもたちはもちろんですが、私たち教師もすでに戦争を知らない世代です。それぞれの立場で学び、平和とは何かを感じ、考えさせられた貴重な時間となりました。

それぞれの学級に帰った子どもたちは、静かに感想を書いていた。



戦争はとってもこわく、高知で起きたのを知りました。亡くなった人は、そんな戦争で死にたくなかったと思います。だから、平和に暮らしていきたいと思いました。まだ戦争をやっている国があるので、平和になってほしい。平和な社会をつくるために、自分にできること。ケンカ・暴力・悪口を言ったりしません。友だちと仲良くしたいです。みんなに優しく、相手の立場になって考えたいです。(5年生 女兒)

ぼくは、せんそうのかみしばいをみて、かなしかったです。ぼくは、せんそうはこんなにこわかったんだなあとおもいました。(1年生 男児)

せんそうで、おおくのひとがしんでかなしかったです。かみしばいで、「あかがみ」がちょっとこわかったです。ばくだんがこわかったです。(1年生 男児)

こんな積み重ねを大事にしていくことで、揺るぎない「反戦・平和」の意識は確立されていくものだと思います。



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	○ ~13:00	○	○
午後 2:00~5:30	○	手術	○	△	○	▲

▲第2、4土曜日 午後1:30~4:00

▲第1、3、5土曜日 午後休診

休診/木曜午後 日曜祝日

有料広告

やまおか眼科

院長 山岡 昭宏

いの町新町20-1

TEL (088) 893-5161